校長室便り　No.18

土佐清水市立下ノ加江小学校
令和４年３月２４日（木）
文責：東　淳一
Tel/Fax　0880－84－0031

ご卒業おめでとうございます。

桜の蕾みもふくらみ、旅立ちの春がやってきました。３月は別れの季節です。卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。

常に学校のリーダーとして下級生を引っ張っていってくれました。皆さんの日々努力した姿は、在校生の心にいつまでも残ることでしょう。そして、よき伝統として５年生に引き継がれていくことでしょう。

卒業は、ゴールではありません。次のステージへ向けての節目です。少しゆっくりしたら、心のスイッチを入れましょう。

新しい出会いに向けて、一歩を踏み出して下さい。

来年度の学級編制・教室配置

１年	２年	３年	４年	５年	６年	計
０	２	２	１	０	７	１２

３月２３日現在、来年度の各学年の人数は上の表の通りとなります。

そこで、学級編制ですが、２・３年、４・６年、特別支援学級の３学級編制となり、今の学級がそのまま上がることになります。

教室配置は、

現３・５年教室　　⇒　２・３年教室
現６年教室　　⇒　４・６年教室
５年２組教室　　⇒　６年２組教室

となります。２・３年教室と５・６年教室を隣どうしにしようかとも思いましたが、２・３年、４・６年の複式は、教科が違うので、（２年は生活科、３年は総合的な学習、理科、社会、６年は、家庭科等）単式化を図る必要が出てきます。そのための教室として現在の１・２年教室とイングリッシュルームを活用したいと考えています。

隣接する教室を単式授業のための教室にしておくことで、移動も容易になりますし、様子も把握しやすくなります。

ただ、現在の３・５年教室の隣の教室は、エアコンがないため年間を通した活用が難しく、空き教室として可能なときに使用します。

解放子ども会閉講

３月８日、本年度の解放子ども会が閉講を迎えました。

この１年間、３名で、人権学習や環境学習、時にはレクなども入れて活動してきました。
年明けからは、コロナのために活動ができず残念でしたが、これまでの活動お疲れ様でした。

本来なら、布福祉センターで一緒に活動してくれた人たちに参加してもらって閉講式ができればよかったのですが、コロナのためにそれもかなわず、校長室での閉講式となりました。

福祉センターの佐竹館長より、３人への言葉と記念品を渡してい

ただき、閉講となりました。３人それぞれに、良い思い出ができたことでしょう。
思い出を胸にこれからもがんばってください。

春休みです

卒業式、修了式が終わると２週間の春休みです。気候もいいので、出かける人も多いのではないでしょうか。コロナの感染予防に努めながら休みを楽しんでください。

ただ、「備えあれば　憂い無し」と言う言葉もあります。準備していれば、後で困ることはないと言う意味です。新年度に向け、春休みの間に次の備えをやっておきましょう。

勉強の備え　⇒　学年の復習をすることや文房具、持ち物などの必要なものの準備をしておきましょう。

生活の備え　⇒　規則正しい生活、適度な運動、バランスのとれた食事を心掛けましょう。

心の備え　⇒　次の学年でがんばりたいこと、目標とすること等、考えておきましょう。

昨日の１日も、今日の１日も、明日の１日も１日に変わりはありません。中身の濃い１日になるのか、何も残らない１日になるのか・・・それを決めるのは自分次第です。自分から進んで活動し、毎日が充実した日になることを願っています。１～５年生は、新年度を迎えたとき、春休みの楽しい思い出を聞かせてくれたら嬉しいです。

先生方、お世話になりました

この度の人事異動により次の先生方とお別れすることになりました。

◇中屋　俊也　教頭先生

昇任おめでとうございます。５年間本校のために力を尽くしてくれました。４月から、船で渡らなければならず、気軽に会うことも叶いませんが、沖の島小中学校でも活躍されることを期待しています。

◇永橋　貴恵　先生

長い教員生活、ご苦労様でした。４月からは・・・まずはゆっくり体を休めて、これからの生活設計をして下さい。そして、第２の人生へ歩みを進め、楽しく充実した日々を過ごしてください。

◇山﨑　理奈　先生

集金や教科書、物品購入等々、子どもたちや先生方を随分助けてくれました。先生方が、心配なく授業に向き合えるのは、見えない部分での支えがあったからです。ありがとうございました。

◇西村　実咲　先生

幡陽小と兼務で大変だったと思いますが、子どもたちの健康管理やけがの対応等、見守ってくれました。子どもたちとは年も近く、相談しやすかったのではないでしょうか。ありがとうございました。

◇井上　志保　先生

子どもたちの支援、環境整備等々に気を配ってくれました。特に１，２年生はこの１年お世話になりましたね。古い校舎ではあっても気持ちよく生活できたのは、井上先生のおかげです。ありがとうございました。

◇小谷　幾美　先生

給食の受け入れや消毒作業、様々な場所の掃除などありがとうございました。コロナ禍、掃除や消毒には気を遣われたことでしょう。おかげで、感染者を出すこともなく、みんなが健康に過ごすことができました。

別れはいつも寂しいものですが、この仕事に携わっている私たちにとって、異動は宿命であり、毎年、別れと出会いを繰り返します。残る者は、先生方との思い出を胸に、今まで以上にがんばっていきます。

退職、異動された先生方には、次のステージでそれぞれ活躍されることを祈っています。